

2020~2021年度
ROTARY INTERNATIONAL
 第2770地区 **大宮東ロータリークラブ** **週報**
新たな機会へのチャレンジで、
クラブに活力を!

RIテーマ
 Rotary Opens
 Opportunities

疾病予防と
 治療推進月間

例会日	毎週水曜日	事務局	さいたま市見沼区東大宮	会長	小林 聡
時間	12:30~13:30		5-50-9・B-2	幹事	瀬田雄一
例会場	武蔵野銀行 東大宮支店	TEL	048-685-0145	クラブ管理	
創立	1978年10月28日	FAX	048-687-3495	運営部門委員長	高橋洋文
		Eメール	omiya.rc@nifty.com	公共イメージ	
		http://www.omiyaeast-rc.jp/		向上委員長	三枝和男

点鐘 小林 聡 会長 ソング それこそロータリー
 ゲスト&ピジター
 ◆宗像英明様(国際ロータリー第2770地区前米山記念奨学部門委員長・大宮南RC)
 ◆星野和茂様(大宮北東ロータリークラブ 会長)
 ◆長谷川秀明様(大宮北東ロータリークラブ 幹事)

会長挨拶 小林 聡 会長



みなさんこんにちは。星野会長、長谷川幹事、そして宗像様、ようこそいらっしゃいました。さて先週は、公式訪問例会お疲れ様でした。早い方は朝の10時前から、午後4時近くまで、準備や進行にご協力いただき、本当にありがとうございました。おかげさまで、公式訪問が終わり、次年度の人事もほぼ固まったようですので、あとはクリスマス例会が終われば、高橋年度への中継点が見えてきます。とはいえ、今年度は何があってもおかしくない年度ですので、気を緩めることなく、緊張感を持って、残りの期間を締めたいと考えております。どうかよろしくお願い申し上げます。さて、毎回コロナの話題ばかりで、いい加減うんざりしているのですが、コロナの感染拡大が止まりません。年末年始に向かい、どうしていいか途方に暮れている方も少なくないのではないのでしょうか。不要不急の外出を避けよと言いますが、不要不急とはどういうことなのでしょう。私の両親は既にならぬのですが、妻の両親が健在で仙台で暮らしています。この両親が孫に会いたがっているのですが、どうしたものか悩んでいます。うつってしまったらと思う反面、コロナが収束してからといっても、それが3か月後なのか、1年後なのか、3年後なのか、その時両親がどういう状況にあるのか、全く想像が付きません。今会わせてあげないと後悔するような気もしますが、会わせて万が一のことであれば、それこそ一生後悔しそうです。どなたか良い解決方法があれば教えてください。さて今日は、昨年度の米山記念奨学部門の部門委員長を務められた宗像様にお越しいただいております。実は、宗像様には、運命の10月7日の例会に卓話

をお願いしていたのですが、私が濃厚接触者になった挙句、その認定がなされる直前に理事役員会で多くの皆さんに接触してしまったということもあって、中止とせざるを得なくなり、大変ご迷惑をおかけしました。そうしたいきさつがあったにもかかわらず、余人をもって代えがたいということで、重ねて卓話をお願いしたところ、快くお引き受けいただきました。深く感謝申し上げます。米山記念奨学生は、今年度もアティカさんを受け入れており、皆さん馴染みのある制度だと思いますが、その歴史や選考方法など基本的なことでも意外と知らないことが多いように思います。本日はこうした知識を身につけるよい機会かと思っておりますので、ご期待いただければと思います。それでは本日もよろしくお願い申し上げます。

幹事報告 瀬田 雄一 幹事



1. 台湾国際大会のガバナーナイトが2021年6月12日に開催されます。1月31日締め切りです。
2. ライラ研修の申し込みは12月15日締め切りです。
3. 次年度理事役員の選考がパスト会長会を経て理事役員会で承認されました。12月23日の年次総会で上程いたします。
4. クリスマス例会の予算が承認されました。
5. 12月13日(日)米山感謝の集いが開催され小林会長、大西委員長、アティカさんが出席いたします。
6. 2019年手続要覧の変更に伴い、定款を次年度変更いたします。
7. 1月、2月のプログラムが承認されました。
8. 事務局は12月29日(火)より1月7日(木)まで休暇となります。

お客様ご挨拶 星野和茂様・長谷川秀明様



星野和茂様：皆様こんにちは。本日は表敬訪問に参りました。私共のクラブは本年度は10名となり、会員の維持と会員をふやす努力をしておりますが、コロナ禍の影響もあって大変なところもあります。今年度一人でも二人でも増やしたいと思っております。大宮東クラブさんは今までのお話を伺って、これだけの人数がいらしても皆様、仲良くしていらっしゃるの、私たちがふえた時にお手本にさせて頂きたいと思っております。今後どうぞ宜しくお願いいたします。長谷川秀明様：皆様こんにちは。2年か3年に一回来るのではないかと気がいたします。星野会長は入会して間もないですが、よろしくお祈りいたします。私はまた来年もこちらに来ることになるかと思っております。ありがとうございます。

米山奨学金授与



ヌル アティカ ビンティ ハッタ様：皆様こんにちは。そろそろ論文を書く時期になってきました。今週の日曜日には感謝の集いに小林会長と大西委員長と一緒に参加させていただきます。本当にありがとうございます。いつも皆様の応援を頂きありがとうございます。カウンセラーの鈴木さんはいつも私の面倒を見ていただき、お世話になって、心より感謝申し上げます。最後まで、勉強、研究、ロータリー活動を頑張りたいと思っております。今月のテーマは疾病予防と治療推進で、今もコロナ感染症がまだまだ減らない状況です。そのためにソーシャルディスタンスで2メートル離れ、いつもマスクを忘れずに、これから寒くなってきますので、皆様もコロナ感染症に感染しないように気を付けてください。よろしくお願い申し上げます。

出席報告 楯基之クラブ奉仕委員長

月日	総員	出席	猶予	欠席	MU	%
12/9	40	20	6	20	0	55.56
前回	40	22	6	6	12	91.86

スマイルBOX報告 楯基之クラブ奉仕委員長

◎宗像様ようこそいらっしゃいました。卓話よろしくお祈りいたします。
 ◎星野様、長谷川様ようこそいらっしゃいました。本日はよろしくお祈りいたします。
 *星野和茂様・長谷川秀明様
 *田中秋弘副幹事*小林聡会長*河本博副会長・茂田雅良副S.A.A・瀬田雄一幹事・渡部正司直前会長
 *大石秀成会員・大西清和会員・志村広会員・高橋洋文会長エレクト・楯基之会員・千代邦夫会員・中川賢司会員・堀江誠一会員・堀口勝三会員・三枝和男会員・山田雅明会員・横田勝美会員
 *理事役員会残金
 ご協力ありがとうございました。
21件41,000円合計553,014円

卓話 宗像英明様



『米山奨学生の近況について』
 皆様こんにちは。現在の米山奨学生は、継続生2名が9月で卒業し、うち1名が帰国し、1名が進学いたしました。今は女性18名、男性16名の34名、10か国となっております。出身国は、中国10名、ベトナム4名、マレーシア2名、韓国2名、台湾、カンボジア、コンゴ民主共和国、ナイジェリア、ミャンマーが各1名おります。宗教もそれぞれ違いますので、食事が大変です。奨学事業の目的は、勉学または研究のために来日し、我が国の大学など教育機関に在籍する外国人に対して奨学金を支給し、よってロータリーの理想とする国際理解と親善と平和に寄与することです。今年度は新型コロナウイルスの影響で、部門の行う事業には、Zoomによる参加をしてもらっていますが、他の奨学生と直接会って話をする機会が例年に比べて極端に少なくなっています。2019年2月のアンケートによりまず、奨学生になってよかったことは①経済的に支えられた330人・86%②専任の心を学ぶことができた207人・54%③日本人の考えやマナーを知ることができた172人・45%④精神的に支えられた162人・42%⑤学校で学ぶことのできない日本の企業・日本社会の実際を知ることができた149人・39%⑥他国出身の奨学生・学友と交流ができた145人・38%⑦日本の習慣を学ぶことができた113人・29%⑧自国の文化や自分のことを知ってもらえた101人・26%でした。学友として残ってくれるかどうかは奨学生同士の交流がカギです。日本との懸け橋として卒業後も活動してくれるかどうかは、同期の奨学生と楽しい思い出を作れるかどうかによって左右される傾向が顕著です。そこで、昨年度、今年度は旅行会と春の2回実施しました。委員会に奨学生を参加させる際には、懇親会を実施いたしました。今年度はコロナ禍で難しいです。米山奨学制度を支えるのは世話クラブです。クラブ全体で世話をしてください。カウンセラーの鈴木さん、ありがとうございます。カウンセラーの自己負担がないようにクラブで対応をお願いします。クラブには年間45,000円支給されますのでご利用ください。アンケートより、留学生活で悩んだとき、クラブやカウンセラーにどのようにしてほしかったか①話を聞いてアドバイスしてほしかった177人・46%②特に何もしなくて良かった92人・24%③話を聞いてくれるだけで良かった70人・18%④一緒に解決してほしかった21人・5%でした。他には、すぐにアドバイス頂いています・いつも支えてくださり悩みがなかったです・困ったことがなかったです・カウンセラーだけでなくクラブの皆さんが話を聞いてくれます・ロータリーへの感謝が役に立ちました。日本の生活で不安を感じたことは①就職・進学などの進路に関する不安163人・42%②経済的不安144人・37%③特になし132人・34%④勉学・研究に関する不安111人・29%⑤人間関係に関する不安・23%⑥友人がなかなかできない。その他、マナーの違いに戸惑った・人を傷つけてしまわないか不安・博士論文執筆中のため不安・就職と日本の医師免許取得が不安・起業する予定なので不安・母国で戦争が起きないか不安・日本人の友達ももっと欲しい・不安がない。奨学生進学の流れは7月に地区で指定校の選定をします。8月の初旬に奨学会が指定校を公表します。申込者は学校の窓口へ申込書を提出(地区選考の目安を提示し学校説明会と訪問を実施)。学校で学内選抜を行い10月15日の締め切りまでに申し込む。地区選考委員会が指定校と募集人数を決めます。申込書類は申込者が日本語で自筆で手書きします。指定校担当者は取りまとめて専用WEB画面で申し込み登録をします。その後、面接官オリエンテーション、1月に面接・内定合否が行われ、世話クラブ・カウンセラーの選定を行います。3月合否決定し、オリエンテーションが実施されます。奨学期間終了後も交流をお願いします。終了後もクラブ行事に招いたり、週報を送るなどして、連絡が絶えないようにしてください。終了後も複数の連絡先を交換しておいてください。学友になって最新の連絡先を登録するようにご指導ください。学友が奨学会ホームページの専用画面で登録します。奨学生終了後も、博士号を取得したら世話クラブ宛に記念品が贈られます。引き続きアティカのサポートをお願いいたします。本日はありがとうございました。